

一般質問

質問者

会 21) 志 会) 創 志 会) 人 始 夫 一 博 肇 恒 男 彦 朗 男 雄 二 好 久 一 規 (ク 桐 市 市 公 日 本 共 産 党 議 員 団) (い ち え) (創 志 会) (桐 政 会) (創 志 会) (市 民 の 風) (公 明 クラ ブ) (日 本 共 産 党 議 員 団) (い ち え) (創 志 会) (桐 政 会) (創 志 会) (市 民 の 風) (公 明 クラ ブ) (創 志 会) (日 本 共 産 党 議 員 団) (い ち え) (市 民 の 風)

工 藤 英 人 (創 志 会) 河 原 井 保 田 之 内 辺 渡 辻 北 周 岡 人 伏 周 佐 関 田 飯

※氏名の後のカッコ内は所属党派名

6月30日(火)・7月1日(水)の2日間にわたり、18人の議員が一般質問を行い、市政に関する問題について、市当局の見解を求めました。

市立幼稚園の英語教育

工藤 英人(創志会)

質問 今後の市立幼稚園については、平成二十九年(2027年)度から私立幼稚園と保育料が同一になることから、保育内容等に差をつける必要があると考える。例えば、市立幼稚園に英語教育(英語遊び)を導入するなど魅力ある幼児教育を推進することについて市の見解は。

答弁 従来のALTの訪問や教職員への研修を更に充実させるとともに、子供たちの発達に影響が出ない

ようなプログラムの開発や英語教育を取り入れた教育課程の研究など、保育の質を高めるための方策を総合的に研究していきたい。(ALTと幼稚園児)



鳥獣被害防止対策

新井 達夫(桐政会)

質問 近年個体数の増加により、野生動物と自動車(注意喚起の啓発看板)



との衝突事故が多く見られる。衝突事故が頻繁に起きそうな野生動物の通り道等に注意喚起を促す標識があれば、運転手は「ここは動物が出没する場所だ」と意識を持って運転することができる。市では、標識を設置する考えはあるのか。

答弁 道路上に出没する野生動物に対する注意喚起の啓発看板を、現在三箇所設置している。今後は、野生動物が頻繁に出没する地点等には、県・市関係部局と連携しながら標識の設置について協議していきたい。

(仮称)梅田浄水場について

河原井 始(クラブ21)

質問 管網の整備方法で、送水管布設について、水需要の動向を勘案し当面は見合わせるものとするなど、(仮称)梅田浄水場計画の見直しの根拠となる基本的な考え方は。

答弁 見直しについては、想定を超える給水人口や水需要の減少などが当初計画より大幅に進んだことに伴い、平成二十五年三月に厚生労働省が公表した、「新水道ビジョン」と照らし合



わせながら、給水人口や水需要予測に基づいて総合的な見直しを行い、財政計画も見直し内容を踏まえて再検討した。

(仮称)梅田浄水場完成予想図

十年前の合併の再評価

久保田 裕一(市民の風)

質問 亀山市長が十年前の合併に関して感じていること、また今後への課題意識について伺いたい。

(桐生市役所)

で飛び地となっているという点であり、本来の意味での一体感が得られていないため、みどり市との合併に向けて精一杯努力したい。



答弁 新里町、黒保根町の皆様には、合併により、大きな変更が伴った部分もあり、ご負担やご心配をお掛けしたところもあったかと思うが、皆様のご理解とご協力により、無事十年を迎えられたことを嬉しく思う。今後の課題は、現在の桐生市がみどり市をはさん

下水道中期計画について

園田 基博(創志会)

質問 川内地域及び新里地域の下水道整備の進捗状況と許可予定は。

答弁 平成二十七年三月三十一日現在で、川内地区では、七十七・六二ヘクタールの整備が終わり、進捗率は五十二・五％。新里地区は、二百十五・七六ヘクタールの整備が終わり、進捗率は七十九・三％である。今後の予定は、川内町では県道川内堤線と県道駒形大間々線の交差点付近ほか



(下水道工事の様子)

九十五ヘクタール、新里町では新里中央小学校付近約三十六ヘクタールの事業認可拡大の検討、作業を進めている。

防災教育の充実

山之内 肇(公明クラブ)

質問 防災教育の第一人者である片田敏孝教授に関する避難訓練の様子



(避難訓練の様子)

わっていただき、これまでの防災教育の枠を越えて、教育委員会と防災担当部署が連携して「桐生市モデルの防災教育」を構築すべきと考えるが見解は。

答弁 今年度から教育研究所において「防災教育班」を立ち上げ、発達段階に応じた、系統的な防災教育の研究を始めた。今後、片田教授のご指導を受けながら、どのような防災教育が構築できるか、教育委員会と安全安心課が一丸となって研究していきたい。

若者の定住促進について

渡辺 恒(日本共産党議員団)

質問 桐生で安心して生活し定住してもらうために、(市内の空き家登録物件)



賃貸住宅を借りている人などに家賃の補助を行うことや市街地等にある空き家を市が借り上げ整備し、子育て世帯等に安く貸し出すなどの事業を進めることは、生活基盤の形成、空き家対策、街中活性化にもつながると考えるが市の見解は。

答弁 家賃補助については住宅取得応援事業の申請状況を検証しつつ、他市の状況や先進事例を参考に今後研究していきたい。空き家対策事業についても関連をもって利活用を大いに進めていきたい。

群馬県東部水道事業

辻 正男(いちえ)

質問 群馬県東部水道事業の三市五町の企業団に不
(梅田清流広場)



参加の当市の考えは。
答弁 (仮称)梅田浄水場がようやく緒に就いたところであり、当面この大企業に専念するということと、また財務状況が良好で、老朽施設等の更新も進んでいること、さらに他市町で課題となっている石綿管の布設替えも既に完了していることから、広域化に伴う補助金等の恩恵を受ける機会もないことを踏まえて参加を見送らせていただきたい。なお、今後も広域化については、研究を重ねていきたいと考えている。

新たたらせ健診

北川 久人(創志会)

質問 健診の受診は疾病の早期発見等医療費の削減にもつながると考えられる。特定健診を受診しており、なおかつ一年間保険診療を受けていない世帯に対しては、国保税の減税など優遇措置を講じてはどうか。

答弁 楽観視出来ない財政状況のもとでは、特定の被保険者のみに国保税減税の優遇措置を実施することは困難だが、予防医療として新たたらせ健診の受診率



(健康診査の様子)

向上にもつながる被保険者の意欲向上に結びつくような方策として、何らかの優遇措置等が講じられないか研究したい。

砂防堰堤について

周藤 雅彦(クラブ2)

質問 砂防堰堤は急斜面に土砂を均等に堆積させ、斜面を平らにすることが目的だが、八王子丘陵砂防堰堤付近の住民は、堰堤に土砂が堆積し、樹木が繁茂している状況に不安を感じている。その不安解消について、市の考えは。

答弁 八王子丘陵砂防堰堤を管理している群馬県桐生土木事務所にお問い合わせたところ、現状では維持管理上、支障は無く、土砂の



(八王子丘陵砂防堰堤)

異常堆積や支障となる樹木を発見した場合には、速やかに浚渫及び伐採等を行い、災害の事前防止を図っているとの回答であった。

県道桐生若舟線の変形箇所

岡部 純朗(桐政会)

質問 境野町七丁目から足利市へ向かう県道桐生若舟線は歩道が狭く、自転車のすれ違いもできない。そのため、歩行者や自転車が転倒することもあるが、この道路の整備について、どのように考えているか。

答弁 現地を確認したところ、全体的に歩道が狭く、凹凸している箇所が多く見受けられる。その中でも、境野町七丁目地内の歩道については、歩道が斜めにな

っており通行に支障をきたす恐れがあることから、群馬県桐生土木事務所に、今後の対策についてお願いをしてきたところである。

(境野町七丁目の歩道)



MAYU・eCOM・mini

人見 武男(創志会)

質問 これまでの受注先と、その後の問い合わせは(MAYUとeCOM・mini)



答弁 MAYUは桐生に四台、みなかみ町に二台、宇奈月温泉に一台、マレーシアに三台納車しており、今年度、玉村町と一台契約が成立した。eCOM・miniは、量産に向け車両機能調査などを行っている段階であり、まだレンタルや販売には至っていない。

質問 海外向けMAYUの生産拠点は。

答弁 組み立てまで一貫して桐生で行い完成車を輸出している。現時点では生産を海外移転する考えはない、とのことである。

みどり市との合併について

伏木 康雄(市民の風)

質問 東毛広域合併と桐生市・みどり市の合併は目(両市長による会見の様子)



的と意義が全く異なると考えるが、市の見解は。

答弁 桐生市・みどり市の合併は、日常の生活エリアが一つになるといった視点から意義があるものと考えている。一方、東毛広域といった広域連携は、合併に限らず、より広い枠組みで自治体同士が不十分な点を補い合うことで地域としての行政サービスの質や地域活力を一定以上に保つことが出来るものである。今後ともこうした違いについて機会を捉え市民に周知していきたい。

イノシシ対策

周東 照二(公明クラブ)

質問 群馬県イノシシ適正管理計画には、「河川敷(イノシシ捕獲檻)



を通ってのイノシシの市街地への出没を防ぐため、河川環境整備を行う」とあるが、被害減少に向けた取り組みと捕獲態勢の強化策は。

答弁 イノシシの市街地出没状況は最近増えており、河川敷の中に潜んでいる現状もあることから、今後鳥獣被害対策については、捕獲隊と連携をとりながらさらなる捕獲強化を図るとともに、河川の管理をしている国土交通省なども連携しながら有害鳥獣が生息しにくい環境づくりを推進していきたい。

カッコソウについて

佐藤 光好(創志会)

質問 絶滅の危機に瀕している鳴神山とその周辺に自生するカッコソウについて、種の保全の取り組みは。



(鳴神山のカッコソウ)

答弁 カッコソウの保全はかねてから取り組んできたが、平成二十四年「種の保存法」の指定により、市に保全が義務付けられた。これにより平成二十六年に行政・保存活動団体・有識者等で構成するカッコソウ協議会を発足させ、保全計画に基づき調査・啓発・整

備などの活動をしている。二年目となる今年度は人工気象機を導入し、少なくなっている遺伝子の保存手法を確立したいと考えている。

小中学校の給食無料化について

関口 直久(日本共産党議員団)

質問 第三子以降の給食費については無料化されたが、子育て支援及び人口減少対策の観点から、全ての給食費を無料化すべきでは。

答弁 今回の第三子以降給食費無料化については、補助金を交付する形で実施し、現在、桐生市立の小・中・特別支援学校在学の児童生徒を持つ保護者からの申請について審査を進めている。また、小中学校の給食費の全額無料化について



(学校給食のイメージ)

は、現時点では想定していないが、人口減少対策等の中で補助金対象の拡大等について、今後検討されるものと考えている。

各種委員

議会選出の各種委員などについて、次のとおりとなりました。

※選出依頼に基づき選出

◇桐生地域医療組合議会議員

議会の議員

園田基博	関口直久
周東照二	佐藤幸雄
河原井始	小滝芳江

議会の議員の選挙権を有するもの

ふじ 藤江	あつし 篤氏	す 須	なが 永	みのる 實氏
もり 森	じゅ 壽	さく 作氏		

◇群馬県後期高齢者医療広域連合議会議員

森山享大

※選出依頼に基づき推薦することに決定

◇桐生市農業委員会選任委員

田島忠一 周藤雅彦



監査委員
周東照二氏
(新任)

人事案件
市議会は、次の人事案件
一件に同意しました。

人事案件

議会報告会・意見交換会

桐生市議会では、現在、議会改革推進協議会において、議会報告会・意見交換会などを見直し、より市民の皆様に参加していただき易いような開催方法や会場について検討しています。つきましては、第2回定例会後の議会報告会・意見交換会はお休みし、第3回定例会後に新たな形での開催を目指します。

今後も、「親しみのある、ひらかれた議会」を目指してまいりますので、市民の皆様のご御理解をお願いいたします。



おりひめバスについて

田島 忠一 (いちぢょう)

質問 四月に改正されたおりひめバスの運行状況と(おりひめバス)

利用者からの反響について。答弁 利用の少ない広沢線の岡ノ上団地経由の系統や境野線小俣行きを系統を廃止して、その分の輸送力を川内線や菱線での新たな区間の運行や利用が見込まれる他の路線に振り分けるなどの効率化を図った。反響については、利用しやすくなったとの意見が数多く寄せられる一方、少数だが、医療機関への通院が困難になったなどの意見も寄せられている。こうした意見は、見直しを図る際の参考にする予定である。

人口ビジョン及び総合戦略

飯島 英規 (市民の風)

質問 今年九月までに作成する原案を、練る段階から産業界や市民の意見を反映してほしい、との声があるが、見解は。

答弁 地方における安定した雇用を創出することが「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における政策の基本目標の一つであることから、産業界の視点が大変重要と考える。したがって原案作成過程において、産業界をはじめとする関係



者へのヒアリングの実施を考えている。また陳情などによる意見や提言は、内容を吟味した上で、できる限り原案に反映していきたい。(桐生市役所)

市議会本会議を

傍聴してみませんか？

本会議は公開されており、議会傍聴受付で簡単な手続き(住所、氏名の記入)をすれば、自由に傍聴できます。傍聴席の定員は基本的に80人で傍聴希望者が定員を超えるときは、整理券を発行して混乱を避けています。

なお、常任委員会(総務、経済建設、教育民生の3委員会)についても傍聴できますが、スペースに限りがありますので、傍聴を希望される場合は、事前に議会事務局までお問い合わせください。

